

令和2年2月定例会 県土都市整備委員会（急施議案）の概要

日 時 令和 2年 2月26日（水） 開会 午後 2時44分
閉会 午後 3時 5分

場 所 第9委員会室

出席委員 永瀬秀樹委員長

権守幸男副委員長

松井弘委員、白土幸仁委員、中野英幸委員、高橋政雄委員、本木茂委員、
鈴木正人委員、山本正乃委員、深谷顕史委員、中川浩委員、高橋稔裕委員

欠席委員 なし

説明者 [県土整備部関係]

中村一之県土整備部長、村田暁俊県土整備部副部長、
北田健夫県土整備部副部長、清水匠県土整備政策課長、
鳴海太郎県土整備政策課政策幹、新井哲也建設管理課長
石川護用地課長、吉澤隆道路街路課長、落合誠道路環境課長、
林雄一郎参事兼河川砂防課長、海老原正明水辺再生課長

西村実収用委員会事務局長

[都市整備部及び下水道局関係]

和栗肇都市整備部長、柳田英樹都市整備部副部長、
柳沢孝之都市整備部副部長、磯田忠夫都市整備政策課長、
山科昭宏都市計画課長、長嶺俊広市街地整備課長、
細田隆田園都市づくり課長、伊田恒弘公園スタジアム課長、
知久裕之建築安全課長、関根昌己住宅課長、檜原徹営繕課長、
岡安裕之設備課長

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件名	結果
第51号	令和元年度埼玉県一般会計補正予算（第6号）のうち県土整備部関係及び都市整備部関係	原案可決

2 請願

なし

【付託議案に対する質疑（県土整備部関係）】

松井委員

国補正の「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」等に対応する予算として河川事業、道路事業それぞれの補正予算が計上されているが、今回の補正では、河川、道路それぞれのどのような内容の事業が計上されているのか。

参事兼河川砂防課長

河川砂防事業については、令和元年12月5日に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」の中の「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」に該当する事業を計上している。具体的には、4つあり、1点目が「氾濫発生の危険性が高い地域における河道掘削・堤防強化等による洪水対策」、2点目が「水害・土砂災害被災地域における再度災害防止対策の集中的実施」、3点目が「水害・土砂災害リスク情報の提供や防災情報のアクセス集中対策」、4点目が「改良復旧を積極的に活用した災害復旧事業」である。

道路街路課長

道路街路事業は、河川同様に12月に閣議決定された「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」、「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」の中で、該当する4分野である。

1点目「市街地の緊急輸送道路等における無電柱化」、2点目「災害時にも地域の輸送等を支える道路のミッシングリンク等の整備」、3点目「道路インフラの老朽化対策」、4点目「未就学児等の交通安全緊急対策」に関わる事業を計上している。

また、「未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上」の中から「農林水産業等の成長産業化・輸出産業化のための道路・港湾が連携したインフラ整備」に該当する事業を計上している。

道路環境課長

道路環境課が補正予算で計上した事業は、国が定めた経済対策のうち「災害からの復旧・復興と安全・安心の確保」に該当する事業である。主なものとして「インフラの老朽化対策」に該当する事業として橋りょう修繕や「未就学児等の交通安全緊急対策」に該当する事業として歩道及び交差点の整備について計上している。

【付託議案に対する質疑（都市整備部関係）】

松井委員

区画整理と公園について補正予算を計上しているが、事業箇所を選定した理由と事業内容について伺いたい。

市街地整備課長

今年度、県が補助している5つの区画整理組合と調整した結果、国の採択要件を満たすとともに、市の予算措置を含め、追加執行可能な箇所として、上尾市大谷北部第四地区を選定した。事業内容は、幹線道路である小敷谷向山線の約300メートルの舗装整備や地区南西部の区画街路など合計約1,700メートルの舗装整備を行うものである。

公園スタジアム課長

公園については、交付金を活用し、拡張整備している権現堂公園とさきたま古墳公園のうち、早期効果の発現が見込める権現堂公園を選定した。事業内容は、約1.5キロメートルの園路整備を行うものである。

【付託議案に対する討論】

なし